

曙 光

第77号

令和4年2月1日発行

発行

広島県立障害者
リハビリテーションセンター

あけぼの

〒739-0036
東広島市西条町田口 295-3
TEL (082) 425-1455

年初に利用者と職員が書いた絵馬は、職員手作りの「曙神社」に奉納され、廊下に飾られているが、願い事は新型コロナウイルスの終息関連が多かった。家族の面会や自宅への外泊が制限され、家族や友人との食事や外出など、当たり前だった日常が過去のものとなり、以前がいかに良かったか感じることもある。

今年の四月に一二〇年以上の時を経て、成人年齢が引き下げられることになった。諸外国では、心身の成長に見合った改革等を理由として多くの国で成人年齢を十八歳に引き下げていることも背景にあり、国際的な潮流に乗るといふこともあるらしい。十八歳

成人により変更されることとして、クレジットカードの取得、携帯電話の購入等が、親の同意なしで契約できることになった。クレジットカード等の取得については、ネットの簡単な手続きで発行できる会社も多くあるので、当施設でも入所者との日頃のコミュニケーションに、ケース担当による金銭管理等の支援を行うことが想定される。

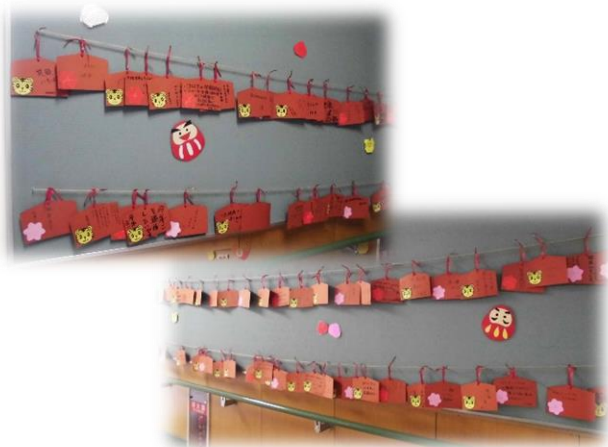
ある団体が欧米やアジアなど九ヶ国の十七歳〜十九歳を対象に「自分を大人だ」と思う割合を意識調査した結果によると、他国の七〇%程度に比べ日本はわずか二九%であった。大人であるとの主体性の

欠如は、自己主張が控えめな国民性によるところもあると思うが、法による親の同意というシステムによって守られてきたことも大きな要因ではないだろうか。ただ、裏を返せば、新たな権利を手にすることは「子供だから」の言い訳が通用しなくなり、重い責任を負うことでもある。

この改正に合わせて、「丁年」という言葉が使われることを散見するようになった。同じ読み方の「定年」の意味は言うまでもないが「丁年」とは一人前に成長した年齢を意味する言葉であり、今までは満二十歳と定義されていた。当施設でも高次脳機能障害者の受入れを開始してから満二十年と



なった。経営的に独り立ちすることは、高次脳機能障害者に対する障害福祉サービス費の改定がない限り難しい。私たちには、これからも高次脳機能障害者への支援を続ける強い意志はあるが、現実是他の施設からの黒字補填により、何とか継続できている状況である。コロナ禍により医療部門の収益も厳しいことから、この事業の実施を依頼した県と課題を共有し、今後の事業継続への責任を果たしたいと考えている。



お楽しみ外出

秋晴れの10月22日、入所利用者と職員とでランチ外出を行いました。今回は、東広島市西条中央の「はにわCafé」でランチを楽しみました。お店のご協力で、貸し切りで利用させていただき、感染対策を行いながら実施しました。

食後に公園を散策。天気もよく、
いい気分転換ができました♪

日替わりランチ
美味しかったよ！

お楽しみメニュー

毎月1回、昼食を「お楽しみメニュー」としています。栄養士を中心に内容を検討し、「普段なかなか食べられない特別な食事」を提供しています。コロナウイルスの影響で外出の機会も得られないこともあり、大変好評をいただいています。

おでん(10月)



おでんは例年とても好評で、出汁がしっかり染みた大根や玉子など、「あったかくておいしかった〜！」と、大変喜んでいただきました。

にぎり寿司

(11月)



いくらやえび、まぐろにサーモンなど様々なネタを堪能いただきました！
美味しそうですね〜？

あけぼの自治会は、毎月第1月曜日に役員会議を行っています。誕生日会などの行事についてや、日常生活を送る中で困っていることなどを話し合っています。

また、昨年9月に設置した「自治会意見箱」を活用し、利用者からの、施設生活に関わる率直な意見や要望を募っています。

誕生日会では、利用者代表が挨拶のスピーチをしたり、行事では自治会役員が中心的に企画運営に携わるなど、利用者の皆さんが協力しあい、主体的に活動しています。

あけぼの自治会



年送りクリスマス会

12月24日に開催。今回は、自治会役員である利用者が中心となって企画。「どうしたらみんなが楽しめるか？」と意見を活発に出し合い、アンケートも実施しました。結果、「すき焼き」と「ビンゴ大会」に決定。ビンゴ大会では、皆さん真剣な面持ちで参加。数字が発表される度に一喜一憂。後援会の協力で用意したプレゼントを受け取って、楽しい時間を過ごすことができました。

すき焼きももちろん、「美味しかった～！」と皆さんに満足していただきました。



1月11日、新年最初の行事として開催。利用者が協力して絵馬を作成、それぞれに目標や抱負、願い事を書き入れました。

「野球盤ゲーム」も開催。白熱した戦いが繰り広げられ、盛り上がりました。

それぞれの目標に向け、新たな気持ちでの新年のスタートです！

新年会

利用終了者アンケート

今年度から、あけぼの利用を終了された皆様に「満足度調査」として利用中の支援内容に関するアンケートを実施しています。いただいた回答の中から、施設へのメッセージを紹介します。

【自由記述より】

- ・幅広く支援していただきありがとうございました。
- ・退所に対して本人の希望をしっかりと聞いてもらえたことに感謝しています。
- ・いろいろな機会を作っていただいたことに感謝したいと思います。
- ・知能や記憶の回復も現在進行形であり、やるべきことを書き出す作業はこれからも続けていきます。
- ・車いす生活(入所時)から自立歩行ができるようになりました。
- ・居室(相部屋)について、同室者に気を使わなければならないのが不満。

回答いただいたすべての方からは、利用サービス全体の満足度を「満足」「やや満足」と回答いただきましたが、施設設備や職員の対応について「不満」とのご指摘もありました。

障害特性やプライバシーに対応した施設の整備、職員の支援の質の向上等たくさんの課題がありますが、皆様からの回答をもとに、通過型の支援施設として「利用してよかった」と実感していただけるよう、取り組んでまいります。調査項目ごとの集計結果につきましては別の機会にご報告します。



利用者の動き

令和3年10月1日～令和4年1月31日

《新規利用者》8名（入所7名，通所1名）

【内訳】利用経路：リハセンター高次脳専用病床6，リハセンター2病棟1，自宅1

利用事業：機能訓練5，生活訓練2，就労移行0，生活介護1

《利用終了者》6名（入所4名，通所2名）

【内訳】生活の場：自宅3（単身2名含），障害者支援施設（生活介護）1，グループホーム（障害）1，病院1

活動の場：就労継続支援B型2，障害者支援施設（生活介護）1，入院1，その他2

題字紹介

今回題字を書いてくださったのは、利用者の藤井真さんです。新型コロナウイルス感染拡大のため書道ボランティアの皆様の来所が叶わず、久しぶりの「書道」となりましたが、枚数を重ねることに太くしっかりとした筆使いで書き上げてくださいました。

編集後記

新年が明けて1カ月が経ち、早いもので、今年度も残り少しだなと思う今日この頃です。コロナウイルスも一時期はワクチン接種の推奨で落ち着いたものの、新たな変異株によって、私たちの生活がまたもや脅かされる日々が続いています。先日私も3回目のワクチンを接種しました。最近ではコロナが落ち着いたら、あれがしたい、これがしたいと色々なことを想像しながら過ごしています。春はもうすぐそこまでやってきています。暖かくなったら家族や友人と色々なところに出かけたいな。制限が軽減され、素敵な春が迎えられるように。

